

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		教育委員会運営事業				
	担当課・係名		教育総務課	総務係	学校教育係		
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	01 教育総務費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		01 教育委員会費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,044	963	1,044	976	1,044
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,044	963	1,044	976	1,044
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 教育委員会委員						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 教育に関する事務の執行を審議する。						
⑤	事業概要 学校などの教育機関の設置、管理及び廃止に関する事。教育財産の管理に関する事。教育機関の人事に関する事。教科書、教材の取扱に関する事。教育関係職員の研修に関する事。教育関係職員、児童生徒の保健、安全、厚生、福利に関する事。青少年教育、婦人教育、公民館活動などの社会教育に関する事。文化財保護に関する事。など						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第15条 教育委員会会議規則（平成3年教育委員会規則第1号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：回	実績値	16	15	16	
			目標値	14	15	16	
	定義	教育委員会定例会（臨時会）の開催回数					
B	単位：回	実績値	1	1	1		
		目標値	2	2	2		
定義	教育委員学校訪問の回数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	法令等に基づき適正に運営されている。
点数 15	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	適正に管理運営されている。
点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
点数 15	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	法令で定められている自治体の教育政策を具体化した地域教育の主体として、その組織、運営にあたる地域教育の責任機関である。
点数 5	

⑪	課長総括評価	教育委員会定例会において、教育行政における重点施策や基本方針を決定し、事業の適正な管理執行に努めた。
	合計点	50
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		事務局運営事業				
	担当課・係名		教育総務課	総務係	学校教育係		
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	01 教育総務費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		02 事務局費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		4,942	4,675	5,388	5,199	9,322
	財源 内訳	国県支出金	444	444	528	528	2,299
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	4,498	4,231	4,860	4,671	7,023
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 教育長及び教育総務課職員						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 教育に関する事務を適正且つ円滑に処理する。						
⑤	事業概要 1. 教育財産管理に関する事。2. 就学に関する事。3. 教科書、教材の取扱いに関する事。4. 教育関係職員の研修に関する事。5. 学級編成に関する事。 6. 教育機関の環境衛生に関する事。7. 教育に関する調査、統計に関する事。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第15条						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	適正かつ遺漏なく執行されている。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	適正に管理運営されている。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	地方教育行政の組織及び運営に関する法律や学校保健安全法に規定されている事務事業が多く、適切に実施されている。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	法令で定められている教育事業である。	
点数	5	

⑪		
課長総括評価	新教育委員会制度がスタートして4年目、総合教育会議において、町長と教育委員の意見交換を通して情報共有ができており、本町教育の重点施策や様々な教育課題への取組が推進できている。	
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		外国青年英語指導助手招致事業				
	担当課・係名		教育総務課 総務係 学校教育係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	01 教育総務費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		02 事務局費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		4,914	4,899	5,259	5,185	4,387
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	4,914	4,899	5,259	5,185	4,387
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	小・中学校児童生徒及び幼稚園、保育所園児						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	外国語（英語）教育の充実を図るとともに、外国人青年との交流により国際感覚を養う。						
⑤	事業概要						
	1. 外国語（英語）授業の補助に関すること。 2. 地域における国際活動への協力に関すること。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	外国語教育は益々重要度を増しており、ネイティブな英語に直接触れることは児童生徒にとって勉強の意欲を強める。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	外国青年英語指導助手の給与及び旅費に関する条例（平成5年6月25日条例第19号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：人	実績値	1	1	1	
			目標値	1	1	1	
	定義	外国青年英語指導助手の招致人数					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	民間企業からのALT派遣を導入している自治体もあり、企業との契約内容及び財政的な面での検討が必要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	小学校学習指導要領の中で、外国語活動が明確に位置付けられ、国際社会へ通じる子どもの育成が不可欠となっている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	民間企業からのALTも考えられるが、交付税措置はない。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	担任や教科担当とALTがチーム・ティーチングを行うことで、よりきめ細かく、個人に合った指導をすることができる。

⑪	課長総括評価	新学習指導要領が小学校は2020年度、中学校は2021年度から全面实施される。小学校の英語教育が大きく変わり、5・6年で英語が教科化される。小中学校における外国語活動、地域における国際交流活動への協力などALT事業は重要になっており、本町の国際感覚豊かな青少年の育成のためにも有効な事業である。
	合計点	49
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		幼保小連携推進事業				
	担当課・係名		教育総務課 総務係 学校教育係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
項		01 教育総務費	小分類		01 小中学校教育の充実（重）		
	目	02 事務局費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		69	18	46	18	23
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	69	18	46	18	23
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
小学校児童生徒及び幼稚園、保育所園児の児童の交流及び指導者交流							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
幼児、児童の発達や学びの連続性を踏まえ、それぞれの段階で重視すべき保育や教育内容を検討するとともに、幼児期から児童期への円滑な移行及び幼稚園・保育所・小学校への適応や支援に向けた、実効性のある連携や交流の在り方を追求する。							
⑤	事業概要						
幼・保・小の保育士や教職員の資質向上及び、家庭や地域との連携・協力体制づくりのため、義務教育9年間を見通した学びの基礎力の育成を図る。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町幼・保・小連携推進委員会							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	2	2	1		
		目標値	3	3	1		
定義 色麻町幼・保・小連携推進委員会の開催回数							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	幼児期から児童期への円滑な移行を図る上では必要な事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	幼児・児童の発達や連続性を踏まえた有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 11	小学校・幼稚園・保育所と連携ができている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	幼保連携事業の実施や各機関の情報共有もできており目的を達成できている。

⑪	課長総括評価 合計点 45	幼稚園・保育所と小学校の連携を強化し、色麻のすべての子どもたちが、心身ともに健やかで、いつも輝いていられるような色麻らしい幼保小の連携による取り組みができるよう個々の子どもの育ちを大切にしながら、幼児期から児童期へのスムーズな移行や支援に向けた連携や交流ができている。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		奨学事業運営事業				
	担当課・係名		教育総務課	総務係	学校教育係		
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	01 教育総務費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		03 奨学事業運営費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		83	42	83	35	83
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	83	42	83	35	83
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	高等学校・高等専門学校・短大・専門学校・大学・大学院の就学希望者						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	より多くの青少年に就学の機会を与えることにより、本町の次代を担う豊かな人材の育成を図る。						
⑤	事業概要						
	品行方正にして学業優秀で就学を希望しているにもかかわらず、経済的理由により、就学困難な生徒に資金を融資する						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	一人親世帯が増加傾向にあるため、経済的支援を必要とする生徒が増えている。家庭の経済的負担を軽減する必要のあることから、毎年、申請時期には問合せが多くなってきている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項 色麻町奨学資金貸付基金条例（昭和45年11月2日条例第18号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：人	実績値	9	14	7	
			目標値	10	10	10	
	定義	新規奨学資金貸付人数					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	民間の育英資金等もあるが、町民ニーズは高い。	
点数	12	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	目的達成のため、有効な手段である。	
点数	14	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	規則により、他の育英資金と重複しての借受はできないが、受益者負担（利子）はない。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	新規の貸付人数は増加傾向である。制度のPRに努めるとともに奨学資金制度の工夫改善に取り組む必要がある。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	向学心のある学生への支援策として奨学事業は有効である。連帯保証人の住所要件を緩和するなど規定を見直し、利用しやすい奨学制度の運用に努めている。
合計点	45	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		学び支援事業				
	担当課・係名		教育総務課	総務係	学校教育係		
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	01 教育総務費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		05 小中一貫教育推進事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,292	1,291	1,769	1,453	1,721
	財源 内訳	国県支出金	1,290	1,290	0	1,452	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2	1	1,769	1	1,721
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
小・中学校児童生徒							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
小・中学生の学力向上を図ることを目的とする。							
⑤	事業概要						
かっぱ塾を開催し、児童生徒の知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を行う。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
学び支援コーディネーター等配置事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	64	65	66		
		目標値	76	76	76		
定義	かっぱ塾開校回数						
B	単位：人	実績値	3,020	2,650	1,847		
		目標値	3,000	3,000	3,000		
定義	かっぱ塾受講者延べ人数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	児童・生徒の放課後及び夏季休業中に学習支援を行うため、学習支援コーディネーターを配置し、学習・交流を促進し、学力向上を目指すこととする。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	児童・生徒の学習に対する意欲の向上を図るきっかけづくりにもつながる有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 11	国の震災復興の10/10の事業であり受益者負担は求めている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	児童・生徒の自主学習や家庭学習習慣の定着につながる有効な事業である。

⑪	課長総括評価 宿題、予習、復習及び自主学習の定着により、学力向上の全体的な底上げを図るや基礎基本の定着を図り、児童生徒の学力向上を支援することができている。また、児童生徒の学習意欲を高め、発達段階に応じた学習時間や環境を設定することで、意欲的な学習活動が定着しつつある。 合計点 41 今後の方向性 <input type="text" value="現状のまま継続"/>
---	---

⑫	二次評価 今後の方向性 <input type="text"/>
---	-------------------------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		国際交流推進事業				
	担当課・係名		教育総務課	総務係	学校教育係		
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	01 教育総務費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		02 事務局費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5,396	5,313	6,036	6,001	5,590
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		一般財源	3,396	3,313	4,036	4,001	3,590
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
中学校生徒							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
語学学習にとどまらない国際的感覚の育成を目指し、本町の次代を担う豊かな人材育成を図る。							
⑤	事業概要						
1 国際交流推進審議会の設置 2 事前オリエンテーション及び事前研修会の開催 3 海外派遣研修 4 事後研修 5 海外派遣研修報告書の作成							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町中学生等国際交流推進事業実施要綱 色麻町中学生等国際交流推進審議会要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	3	4	3		
		目標値	5	5	3		
定義	色麻町中学生等国際交流推進審議会開催回数						
B	単位：人	実績値	10	10	10		
		目標値	10	10	10		
定義	色麻町中学生等国際交流推進事業海外派遣研修参加人数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	5	5		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	10	10		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 中学生の語学力の向上を図り、国際的コミュニケーション能力を身につけることを目的に町が行うべき事業である。 点数 15	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 町の次世代を担う国際感覚豊かな人材の育成を図る有効な事業である。 点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 審議会での協議を行い、学校と連絡調整をしながら、生徒の安心安全な事業となるよう検討している。 点数 14	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 海外研修での経験はこれからの人生の糧となる事業であり、語学力を習得する有効な事業である。 点数 5	

⑪	課長総括評価 国際化が急速に進展する中で、広い視野を持ち異文化に対する理解や異なる文化を持つ人々と協調できる人材の育成はますます重要になっている。若い感性で海外の歴史や文化に直接触れ、町の将来を担う国際感覚豊かな人材の育成を図る事業である。海外で文化や風土に触れることで、郷土の素晴らしさに気づくこともでき、海外研修で得た貴重な経験は、生徒のこれからの人生や学校生活の中で活かされ、未来に向けて成長へとつながっている。 合計点 49 今後の方向性 <input type="text" value="現状のまま継続"/>
---	---

⑫	二次評価 今後の方向性 <input type="text"/>
---	-------------------------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		スクールソーシャルワーカー活用事業				
	担当課・係名		教育総務課 総務係 学校教育係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	01 教育総務費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		02 事務局費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,365	1,364	1,581	1,581	1,814
	財源 内訳	国県支出金	1,364	1,364	1,580	1,580	1,814
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1	0	1	1	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻小中学校児童生徒及び保護者						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（学校、家庭等）への働きかけを行い、児童生徒の悩みや問題等に対する相談活動や支援体制を充実させ、児童生徒が抱える問題等の好転を図る。						
⑤	事業概要 1 問題を抱える児童生徒の話し相手となり、悩み等の相談 2 問題を抱える児童生徒の保護者の悩み等の相談 3 家庭や学校と関係機関・児童福祉施設等の連携 4 学校の教育活動支援 5 その他、上記事業の達成のために必要な事項						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） スクールソーシャルワーカー活用事業実施要項						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	相談件数	単位：	実績値	0	124	123
				目標値	0	0	0
	定義						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	問題を抱える児童生徒の支援として、専門的な知識や技術を用いている人材の配置は必要不可欠である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	問題を抱える児童生徒に対する相談活動を継続して行うことで好転を図ることが期待できる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	県費事業のため、受益者負担は求めている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	問題を抱える児童生徒の好転を図るために有効な事業である。

⑪	課長総括評価 合計点 50 今後の方向性	専門的な知識等を持った人材による支援は、問題を抱える児童生徒の好転を図るために有効な事業である。 現状のまま継続
---	----------------------------	---

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		学校管理事業（色麻小学校）				
	担当課・係名		色麻小学校				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
項		02 色麻小学校費	小分類		01 小中学校教育の充実（重）		
	目	01 学校管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		22,053	21,333	68,200	65,108	23,379
	財源 内訳	国県支出金	0	0	41,800	41,800	0
		その他特定財源	479	484	161	164	271
		一般財源	21,574	20,849	26,239	23,144	23,108
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻小学校						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 学校の管理運営の基本的事項について定め、学校の適正な管理運営を図る。						
⑤	事業概要 児童が安心して学校生活を送れるような環境整備をし、適正な管理運営を図る。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条 色麻町立学校の設置に関する条例（昭和39年条例第8号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	400	374	341	
			目標値	400	374	341	
	定義	色麻小学校の児童数					
B	単位：	実績値	12	12	12		
		目標値	12	12	12		
定義	色麻小学校の普通学級数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位： —	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	法令等に基づき適正に運営されている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	適正に管理運営されている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	校長の管理のもと、適正に管理運営がなされている。

⑪	課長総括評価 合計点 49	・校長管理のもと適正に管理運営がなされている。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		教育振興事業（色麻小学校）				
	担当課・係名		色麻小学校				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	02 色麻小学校費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		02 教育振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		12,309	11,639	11,839	11,628	13,231
	財源 内訳	国県支出金	0	0	123	123	0
		その他特定財源	200	200	400	400	200
		一般財源	12,109	11,439	11,316	11,105	13,031
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻小学校児童						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） よく学び、よく遊び、喜びも悲しみも分かち合い、出会いを大切にする子どもの育成を図る。						
⑤	事業概要 次代を担う豊かな人材を育成するため、学校教育の振興を図る。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 児童生徒の発達に即した学年区分の見直しが必要となっている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 学校教育法（昭和39年細則第30号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：人	実績値	400	374	341	
			目標値	400	374	341	
	定義	色麻小学校の児童数					
B	単位：学級	実績値	12	12	12		
		目標値	12	12	12		
定義	色麻小学校の普通学級数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	法令等に基づき適正に運営されている。	
点数	14	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	適正に管理運営されている。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	校長の管理のもと、適正に管理運営がなされている。	
点数	5	

⑪	課長総括評価	小中一貫教育の9年間で3つのブロックに分け発達段階に応じた学びと育ちをつなぐ教育が展開されている。
合計点	49	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		就学援助事業（色麻小学校）				
	担当課・係名		色麻小学校				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
項		02 色麻小学校費	小分類		01 小中学校教育の充実（重）		
	目	02 教育振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		564	552	1,676	1,105	1,232
	財源 内訳	国県支出金	1	15	1	8	1
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	563	537	1,675	1,097	1,231
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻小学校児童						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 経済的理由によって就学困難な児童の義務教育の円滑な実施を図る。						
⑤	事業概要 要保護及び準用保護と認定された児童に対し、学用品費・修学旅行費等を援助する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 援助が必要な家庭が増えている状況である。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律（昭和31年法律第40号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：人	実績値	36	28	39	
			目標値	0	0	0	
	定義	就学援助費の支給人数					
B	単位：人	実績値	3	2	4		
		目標値	0	0	0		
定義	特別支援教育就学奨励費の支給人数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	法令等に基づき適正に運営されている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	義務教育の趣旨から、経済的援助をしていくことは、必要である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	法律に基づき、適正に処理されている。

⑪	課長総括評価 法律の基づき適正に処理されている。 合計点 48
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		学校管理事業（色麻中学校）				
	担当課・係名		色麻中学校				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
項		03 色麻中学校費	小分類		01 小中学校教育の充実（重）		
	目	01 学校管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		23,185	22,018	22,588	21,205	22,127
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	361	363	112	122	112
		一般財源	22,824	21,655	22,476	21,083	22,015
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻中学校						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 学校の管理運営の基本的事項について定め、学校の適正な管理運営を図る。						
⑤	事業概要 生徒が安心して学校生活を送れるような環境整備をし、適正な管理運営を図る。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条 色麻町立学校の設置に関する条例（昭和39年条例第8号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	201	208	214	
			目標値	0	0	0	
	定義	色麻中学校の生徒数					
B	単位：	実績値	7	7	7		
		目標値	0	0	0		
定義	色麻中学校の普通学級数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位： —	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	法令等に基づき適正に運営されている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	適正に管理運営されている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	校長の管理のもと、適正に管理運営がなされている。

⑪	課長総括評価 校長の管理のもと、適正に管理運営がなされている。 合計点 49
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		教育振興事業（色麻中学校）				
	担当課・係名		色麻中学校				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	03 色麻中学校費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		02 教育振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		6,760	6,490	6,440	6,335	6,759
	財源 内訳	国県支出金	0	0	100	101	0
		その他特定財源	490	490	450	450	200
		一般財源	6,270	6,000	5,890	5,784	6,559
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻中学校生徒						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 思いやりが深く互いに協力し、強い意志と体で最後まで実践し、自ら進んで学習する生徒の育成を図る。						
⑤	事業概要 次代を担う豊かな人材を育成するため、学校教育の振興を図る。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 学校教育法（昭和39年細則第30号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：人	実績値	201	208	214	
			目標値	201	208	214	
	定義	色麻中学校の生徒数					
B	単位：学級	実績値	7	7	7		
		目標値	7	7	7		
定義	色麻中学校の普通学級数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	法令等に基づき適正に運営されている。
点数	14
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	適正に管理運営されている。
点数	15
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
点数	15
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	校長の管理のもと、適正に管理運営がなされている。
点数	5

⑪	課長総括評価	小中一貫教育の9年間で3つのブロックに分け発達段階に応じた学びと育ちをつなぐ教育が展開されている。
	合計点	49
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		就学援助事業（色麻中学校）				
	担当課・係名		色麻中学校				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	03 色麻中学校費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		02 教育振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,652	1,602	2,256	1,655	2,439
	財源 内訳	国県支出金	1	47	1	27	1
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,651	1,555	2,255	1,628	2,438
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻中学校生徒						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 経済的理由によって就学困難な児童及び生徒の義務教育の円滑な実施を図る。						
⑤	事業概要 要保護及び準用保護と認定された児童に対し、学用品費・修学旅行費等を援助する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律（昭和31年法律第40号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
	A	単位：人	実績値	20	24	37	
			目標値	0	0	0	
	定義	就学援助費の支給人数					
B	単位：人	実績値	2	4	4		
		目標値	0	0	0		
定義	特別支援教育就学奨励費の支給人数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	法令等に基づき適正に運営されている。
点数	14
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	義務教育の趣旨から、経済的援助をしていくことは、必要である。
点数	14
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
点数	15
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	法律に基づき、適正に処理されている。
点数	5

⑪	課長総括評価	法律に基づき、適正に処理されている。
	合計点	48
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		学校給食センター管理運営事業				
	担当課・係名		学校給食センター				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	06 保健体育費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		05 学校給食センター管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）			100,931	100,502	88,480	88,039	102,890
財源 内訳	国県支出金		14,600	14,600	3,000	3,000	14,148
	その他特定財源		31,625	33,580	31,102	32,547	35,550
	一般財源		54,706	52,322	54,378	52,492	53,192
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象(誰、何を対象にするのか)						
小中学校児童生徒及び幼稚園児							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
学校給食は児童生徒及び園児の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものである。							
⑤	事業概要						
1 町立小中学校及び幼稚園に対する給食の実施に関すること。 2 町立小中学校に対する栄養教育及び食に関する衛生管理指導に関すること。 3 学校給食に関する調査及び研究に関すること。 4 その他学校給食に関すること。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
衛生的で近代的な施設の下、安全安心な給食の提供を実施できてはいるが、経年劣化による施設の修繕や経済的な理由により一部の保護者が給食費を滞納し、徴収事務も繁雑となってきている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
学校給食法 色麻町学校給食センターの設置及び管理運営に関する条例、規則							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	学校給食の提供	単位： %	実績値	100	100	100	
			目標値	100	100	100	
定義							
B	学校給食費収納率	単位： %	実績値	99	99	99	
			目標値	100	100	100	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	調理、配膳部門において、平成29年度から民間委託による運営を実施している。民間のマンプワーを活用し、安全安心な給食提供を行っている。	
点数	13	
<b>有効性の評価</b>		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養っている。	
点数	15	
<b>効率性の評価</b>		
ア	経費は適切かつ最低限である	4
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	4
評価の説明	食材費の値上がりによる給食費の改定が必要となっている。各設備の経年劣化による修繕料が増加している。経済的な理由により一部の保護者が給食費を滞納している。	
点数	13	
<b>達成度の評価</b>		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養っている。	
点数	5	

<b>⑪</b>		
課長総括評価	<p>経済状況の悪化で保護者の収入不足等により、給食費滞納者の増加傾向が懸念される。給食費については、平成14年のセンター開設時から平成26年度の消費税の引き上げ分を除いて、給食食材の発注や献立の工夫などの対応により据え置いてきましたが、引き上げの時期にきていたので、令和元年度より引き上げを行っている。調理等業務を委託して以降、多彩なメニューの提供や食育の充実、地場産食材の活用など、給食の質が向上している。また、設備等は計画的な更新が必要となっている。</p>	
合計点	46	
今後の方向性	改善の上継続	

<b>⑫</b>		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		学校給食センター就学援助事業				
	担当課・係名		学校給食センター				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 学校教育の充実	
		項	06 保健体育費		小分類	01 小中学校教育の充実（重）	
目		05 学校給食センター管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,180	2,179	2,663	2,513	3,277
	財源 内訳	国県支出金	60	61	70	70	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,120	2,118	2,593	2,443	3,277
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 小中学校児童生徒の保護者						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級で学ぶ障害のある児童生徒の保護者に対し学校給食費を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。						
⑤	事業概要 要保護及び準要保護と認定された児童生徒に対し学校給食費の全額を援助 特別支援教育就学奨励費対象と認定された児童生徒に対し学校給食費の半額を援助						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 様々な理由で生活が困窮している保護者及び障害のある児童生徒の保護者に対し、学校給食費を援助することは義務教育の理念からみて当然であり、今後とも継続していくべきである。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金及び特殊教育就学奨励費補助金交付要綱 色麻町児童生徒就学援助費支給要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	就学援助費支給者数 単位：人	実績値	56	52	63	
			目標値	0	0	0	
	定義	就学援助費を支給した児童生徒数					
B	特別支援教育就学奨励費支給者数 単位：人	実績値	5	6	7		
		目標値	0	0	0		
定義	特別支援教育就学奨励費を支給した児童生徒数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	法令に基づき、適正に運営されている。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	義務教育の趣旨から、経済的援助をしていくことは必要である。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基本的に効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	法令に基づき、適正に処理されている。

<b>⑪</b>	課長総括評価 法令に基づき、適正に処理されている。 合計点 48
今後の方向性	現状のまま継続

<b>⑫</b>	二次評価
今後の方向性	